

開発品「速硬エポキシ樹脂ライニング材」

油止めタル

ABURATOMETARU-EP

EP



仕
様

内容量:500g(A,B材各250g)
半硬化時間:15分
可使用時間:4~6分(23℃)
硬化時間:1時間
耐熱温度:80℃
混合比率:1:1



**エポキシ樹脂(主剤、硬化剤)を主材料に、
金属粉・無機充填材を配合した2材混合形材です。**

当社では、既に発売している「漏油緊急対策修復材キット《油止めタル》」に続いてその鍵となる一次処置や現場での作業性工場を目的に、処置材の更なる開発を進めてまいりました。

漏油を封止するためには、漏油面における処置材の付着性が必要です。「油止めタルEP」は一次処置材として耐油性、速硬性を満足し、作業性を考慮した粘性を有しております。漏油箇所の緊急対策時の修復材としてご使用いただけます。



漏油箇所を清掃、脱脂し、塗布を行います。処置材の硬化が進む途中、
いわゆる半硬化状態において出てくる漏油の量に負けないだけの密封性を保ちます。

使用方法

- ① 本品を塗布する漏油している部位の表面は、速乾性洗浄スプレー等で清掃し、塗膜や金属のはがれを取り除いてください。グラインダやプラストなどによる完全ケレンは必要ありません。

罌子下部の漏油



ウエスと
洗浄スプレーで清掃



- ② 本品はA・B剤を混合して使用します。混合比は1:1でポリエチレンなど材料が付着しない平らな板の上に取り出し、ヘラで均一に混合します。その後4分程度から硬化が始まります。使用時はチューブから5センチ位(7g程度)を搾り出して混合されることをお勧めします。多く出してしまうと作業途中に硬化してしまい、全量使用できなくなる可能性があります。(使用に適した材料温度は20~25℃)です。

チューブから
A,B材同量を搾り出す。
(目分量で可)



均一になるよう
混ぜ合わせる



- ③ ヘラで補修したい漏油部位の上に、5mm程度の厚みになるよう盛り付けてください。側面部など、材料が垂れて、厚みをつけにくい場合は重ねて盛り付けてください。さらに、その周辺に厚めに盛り、塗り広げてください。



漏油部位の上にタツブリと盛り、
重ねながら塗り広げるのが
ポイントです。



- ④ 冬季など気温が低いと材料の硬化時間が延びる為、硬化を早めたいときは、ドライヤー等を使用して加温してください。

取り扱いの注意

- ① 使用時には、周辺ならびに施工箇所に火気のないことを確認してください。
- ② 作業時には、皮膚につかないよう作業手袋を着用してください。
- ③ 万が一手や足など皮膚に付着した場合は、シンナーやアルコールで汚れを落とした後、流水できれいに洗い流してください。
- ④ 材料が反応する際にニオイがあります。屋内などは十分に換気をしてください。
- ⑤ 一度に多くの量を混合した場合、急な発熱を発生することがありますのでご注意ください。
特に夏季は、調合量を少な目にしてください。
- ⑥ 使用環境温度や塗布の厚みにより粘度や可使用時間、硬化時間が変化しますのでご注意ください。
- ⑦ 使用時以外は、キャップを閉めて、乾燥しないようにして冷暗所に保管ください。
- ⑧ ご使用について不明な点やお問合せがある場合には、下記「アイ創研株式会社」へご連絡ください。

アイ創研株式会社

〒490-1111 愛知県あま市菖目寺稻荷136-1-101
TEL(052)485-8637 FAX(052)485-8647
E-Mail:info@ai-soken.jp